罹 災 証 明 書 交 付 申 請 書

様式第１号（第５条関係）

（整理番号）

大和郡山市長様　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　　　　月　　　　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者  （世帯主） | 住　所 |
| 電話番号 |
| (現在の住所及び連絡先) |
| 住　所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号 |
| ふりがな |
| 氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　生年月日 |

|  |  |
| --- | --- |
| 窓口に  来られた方  （申請者と同じ場合は記入不要） | 住　所 |
| 電話番号 |
| ふりがな |
| 氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者との関係 |

|  |  |
| --- | --- |
| 罹災原因 | 年　　　　　月　　　　　日の　　　　　　　　　　　　　　による |

|  |  |
| --- | --- |
| 被災住家※の  所在地 |  |

※住家とは、現実に居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のことをいいます（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）。

※申請者住所と同じ場合は記入不要

|  |  |
| --- | --- |
| 住家の被害 | □ 浸水被害（□床上　　□床下）　□ その他被害(以下に記入) |

|  |  |
| --- | --- |
| 住家以外の被害 | □共同住宅　 　□店舗　 　□事務所　　 □倉庫　 　□その他（　　　　　　） |

裏面に続きます

市役所記入欄

（宛名番号）　　　　　　　　　　本人確認　□済　　　　（物件番号）

|  |  |
| --- | --- |
| 写真による被害区分の判定※ | □　希望する（写真を添付） |
| □　希望しない |

　※下記の場合には、現地調査を省略し、写真により被害区分を判定することが可能です。

　　　・地震による被害を受けた住家の写真から「全壊」と判定できる場合

　　　・水害による被害を受けた住家の写真から浸水深が確認できる場合

　　　・申請者の合意に基づく自己判定方式による一部損壊の判定を行う場合

※添付された写真から被害の程度が判断できない場合には、必要に応じて現地調査を行うことがあります。

写真による被害区分の判定を希望しない場合は、写真の添付は必須ではありません。

|  |  |
| --- | --- |
| 自己判定方式での交付を希望する場合 | □　被害の程度が「一部損壊（10％未満）」であることに同意します。 |

※自己判定方式の場合実地調査は行いません。また、再調査の申請もできません。

|  |  |
| --- | --- |
| 罹災証明書の  必要枚数 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 罹災証明書の  使用目的  (提出先) |  |